



飯島 駆音くん
「ハッピー☆スマイル」
(中宮地町)



柴崎 瑠璃ちゃん
「みんなのアイドル♡」
(下吉田)



石渡 和那くん
「ねえね、にいに、
いっぱいあそぼうね☆」
(大野原)



新井 楓大くん
「おそとがだ〜い好き♡」
(下影森)



応募方法

1〜1歳半程度の市内在住のお子さんの写真を同封し、住所・保護者の氏名・電話番号・お子さんの氏名(ふりがな)・性別・生年月日・コメントを明記の上、秘書広報課までご応募ください。(メールの場合は、件名に「わが家のアイドル」、本文に必要事項を入力し、500KB以上の画像を添付の上、hisyo@city.chichibu.lg.jp まで) 抽選に漏れた方も、2歳になる月まで再抽選します。
※携帯電話のカメラで撮影する場合は、サイズを2M(1080×1920)以上に設定してください。

夢をかなえる 未来にはばたく

秩父地域の高校

秩父高校箏曲部の活動

(秩父高校)



秩父高校箏曲部は、6月に「高校邦楽祭」(川越市民会館)、11月には埼玉県教育委員会主催の「高校邦楽コンクール」(埼玉会館)に出場し、毎年上位入賞(金賞4回)しています。その他、「三曲名流演奏会」(国立劇場大劇場)、「新生会」(紀尾井ホール)、「子供演奏会」(すみだトリフォニーホール)にも毎年参加しています。また、秩父地域においても「市民文化祭」や「市民音楽祭」などに参加しています。

毎年入部する生徒たちは特別講師の坂本美子先生の熱心な指導を受け、初心者も皆、演奏の技術を向上させていきます。それだけでなく、立派な会場で演奏できるという貴重な経験もでき、その中で自主性や難しいことに挑戦する気持ちなども育まれています。

秩父高校は、生徒たちが勉強と部活動の両立でより充実した高校生活を過ごすことを何よりも大切なことだと考えています。



市民文芸

短歌

新しき庁舎のガラスに映る吾襟を整へうれしく入る
ベンチにて芝桜みる人らおり「いいね、いいね」の声背なに聞く
遠き日に秩父銘仙着た日目をふと思ひ出し桑の木みつむ
夜の草目聴く見つけ抜きし妻農家育ちの性なるゆえか
戦前に似たる今の世うれいつつ戦に散りしうかららしのぶ
街育ちの嫁も我が家に四十年今日は茶摘みと菅笠冠る
空き瓶にレース系にて編み包み活けしマーガレット玄関で笑む
路地奥にひとりくらしして二十年額紫陽花の確と根を張る
迷惑をかけぬようにと努めるも子らを頼りの通院となる
自分では採りに行けない路の棒煮付けの届く真心の味

※次回7月号は俳句を掲載します

(評) 町田さん、下の句に実感がこもっていてすてきです。渡辺さん、この歌も下の句で一首が生きました。中村さん、当時は彼方此方から機音が聞こえてきましたね。齋藤さん、妻への深い思いが伝わってきます。内田さん、上の句の捉え方に独自を感じます。山口さん、下の句が的確に詠われています。江原さん、丁寧な詠っています。斎藤さん、特に額紫陽花に思いを仮託している表現がすばらしい。関根さん、すてきなお子さんですね。お大事に。千島さん、採ってきて、さらに煮付けにして届けてくれた方への感謝の思いが、的確に詠われています。	綾部 光芳 選
山田 町田ヨウ子	宮側町 渡辺 勝美
黒谷 中村 美代	吉田久長 齋藤 大仙
中町 内田 定男	上吉田 山口 富江
大畑町 江原 初恵	日野田町 斎藤 ちえ
山田 関根 正子	荒川賢川 千島 金代

短歌、俳句の応募は、住所・お名前(ふりがな)を明記の上、必ず官製はがきで秘書広報課までお送りください。1通に2首または2句まで、各1通までです。

短歌 7月末締切→9月号に掲載
俳句 8月末締切→10月号に掲載

わが家のアイドル・市民文芸への応募は、市役所秘書広報課(〒368-8686 熊木町8-15)へ

なお、掲載した内容は、市ホームページでも公開します。